

りっかかいだより そうふう

六花会だより

ホームページ <http://www.rikkakai.jp>

爽風

第21号

2008/05/08

医療法人六花会
館林記念病院
広報委員会

2008 診療報酬改訂について

今回の改訂では、後期高齢者保険制度が新たに加わり、一段と分かりづらくなっているのが現状です。また、当院の北2階病棟、特殊疾患療養病棟入院料の名称が特殊疾患病棟入院料と変更になります。

病院と診療所・医院との再診料・外来管理加算等の格差、是正縮小が図られた。生活習慣病管理料の見直し、点数の引き下げが行なわれます。

退院後の生活を支援できる体制を整い、他の医療関連職種との連携を強化し評価する。リハビリテーション総合計画評価料が1月1回を限度に算定可となり、患者様の状態にあわせてリハビリをさらに毎回評価しつつ行っていきます。

リハビリテーション料の逓減制（次第に減らしていく方法）ADL加算の廃止。

オンライン化・IT（情報伝達）化の促進を求められている。

この概況の中、当院の方針にもありますように、常に新しい医療の提供・患者様が満足を得られる医療を提供していきます。
（記 医事課係長 中川）

H19年度 看護・介護研究発表会



当院の看護・介護の研究は、患者様に提供する看護・介護の質の向上や業務の改善を行い、安全で働きやすい職場をつくることを目的としています。



各部署で研究メンバーが任命され、テーマを設定し、ほぼ1年がかりで研究に取り組みます。研究開発をする企業のように利益を追求することは求めませんが、研究・調査のための時間の確保は難しく、業務内で完成させることはなかなかできません。また、主婦が多い職場でもあり、日頃から仕事と家庭のバランスに悩みがちでもあります。そんな壁を乗り越えて、研究は担当者の熱意に支えられ、創意工夫が発揮されています。発表会終了後のアンケート結果からも「着眼点がすばらしい」「とても勉強になった」「毎年レベルアップしている」という意見があり、知識の財産が毎年蓄積されています。今、時代が看護・介護に求めるものは量・質ともに高く、しかも毎年変化するのが当たり前になりました。「なぜ、その行為が必要なのか？」という根拠や「どれだけ意味のあることか？」という評価が仕事の必須事項になりました。その根拠や意味を示すためには、調査によって資料をつくり、研究で分析するということになります。そんな時代背景に対応しながら、患者様に信頼される人材になれることを目指して、看護部教育委員会は活動していきたいと思えます。
（記 看護部教育委員長 宇佐美）



平成20年5月15日 木曜日

館林記念病院に献血バスがきます!!

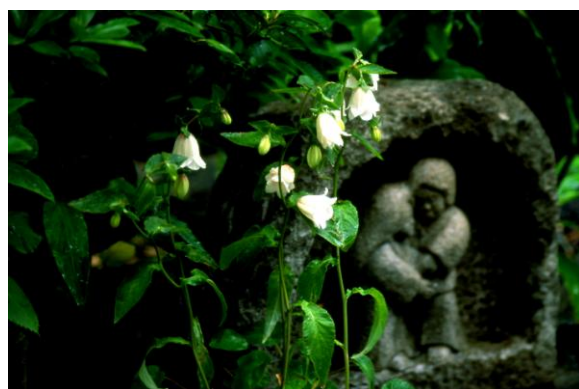
5月15日（木）に、献血車が来ます。
今回で第3回目となります。
群馬県内でも血液が不足しています。ご協力よろしく
お願いします。
献血カードをお持ちの方はお持ち下さい。



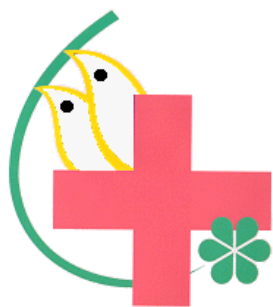
Dr.内田写真館



「菜の花とSL」（真岡鉄道）
栃木県の真岡鉄道沿線は、
春になると沢山の菜の花が咲き乱れ
ます。



「ほたるぶくろと道祖神」
道祖神は男女の神様で村外れや道の
要所にあり、そこを通る悪霊を追
い払うとされています。男女の仲の
良い神様が、悪霊を「邪魔するな!!」
と突き飛ばすそうです。
この写真は患者様の御家族より頂
きました。（記 内田）



病院理念 「心に残る医療を提供する」

基本方針

1. 地域社会に開かれた病院
2. 当院を利用される方に安全・安心を与えられる病院
3. 常に新しい医療を提供する病院
4. 当院を利用される方達が気楽に利用しやすい病院
5. 当院を利用される方が満足を得られる医療を提供する病院
6. 職員をはじめ当院に関わる人達も満足を得られる病院

館林記念病院のホームページ

<http://www.rikkakai.jp>